

カーミージー浜で漂着海ごみ&軽石回収作業実施



第5回のビーチクリーンは、カーミージーの2つの浜で、11/29(月)、10:00～11:30、朝から小雨が降る肌寒い中、下港川の清ちゃんカフェで回収及び当日拾い集めた海ごみ、同時に関係機関と協議して初めて漂着軽石の回収作業を実施しました。

当日の参加者は17名、前田産業ホテルズ、笹尾商工・NEOS、港川自治会、松本浦添市長、浦添市(環境保全課、美らまち推進課、秘書課)の皆さんです。平日の開催ではありましたが、ご協力ありがとうございました。

◆砂浜に漂着した海ごみ・軽石の回収作業



西海岸の環境条件に適したクリーン作業

海ごみ・軽石の回収実現に向けた準備作業から留意点を整理しました。詳細は、本事業報告書で総括したいと思います。現時点では、コロナ禍での作業、沖縄県の軽石成分の安全宣言・方針に基づくことが前提、軽石回収の目的、海岸に漂流する軽石の状況把握、浜辺へのアプローチの確保、軽石回収・運搬方法に係る関係機関との調整、仮置場の設置、ビーチクリーン活動で対応、継続するための課題の抽出・整理など。西海岸において現状では、ボランティア(地域、企業、行政など)の小グループの参加により繰り返し効率良く短時間で回収する方法がベターであると考えます。引き続き、海ごみ&軽石の回収作業を通して、綺麗な里浜の環境維持に努めたいと思います。

海浜の清掃は里浜を守り未来に残すため

北部地域から始まり、10月頃から西海岸の砂浜に漂着し続ける軽石について、どの様に対応すべきか模索してきました。漁業や観光、離島地域の生活などに直接影響を及ぼすため撤去することは明確な目的があります。西海岸の海浜(臨港道路浦添線～カーミージー)において、現時点では重大な実害があるとは言えません。しかし、浦添市には里浜条例で掲げた西海岸の自然海浜・イノーの保全・活用を理念として位置づけています。将来の市民に引き継ぐために、市民参加の取組みに繋がっていきたいと考えます。

回収した海ごみ類一覧

単位: kg(ごみ袋数)

回収した軽石

燃えるごみ	燃えないごみ	その他
・プラスチック類 (ペットボトル等) ・漁具ロープ ・発泡スチロール等	・ガラス片 ・鉄缶、アルミ缶類 ・陶器類等	・車のタイヤ ・かご ・漁業用ブイ
130.0(24)	40.0(5)	5.0
合計 175.0 (29) ※処理場での計測を案分しました。		

軽石
・土嚢袋 50
約8kg/1袋
合計 400kg*

※1袋当たり平均重量で換算

次回は、12/11(土)海没地区で開催します。



◆仮置き場の軽石(左)、回収した海ごみ(右)

第6回(10:00～11:30)は、普天間基地の米軍ボランティア参加(20名程)とともに、海没地区の海ごみ&軽石の回収を行います。海没地区の海岸線の延長は長く、砂浜地帯は特に軽石が漂着しています。サンエーパルコ側海没地区(※集合場所になります)ゲート下の砂地一帯での作業を集中して行います。車利用の場合は、サンエーパルコ前の那覇港管理組合の駐車場を利用ください。年内最後の活動です、よろしくお願いします。